



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東  
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5785)8902  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	3,145	46.1	336	△4.8	321	△12.0	183	△18.7
24年6月期第2四半期	2,153	—	353	—	365	—	225	—

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 189百万円(△16.3%) 24年6月期第2四半期 225百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	14.76	13.55
24年6月期第2四半期	20.34	—

- (注) 1. 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。したがって、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該分割調整後の数値を記載しております。
- (注) 2. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株引受権及び新株予約権の残高がありますが、当社株式は前第2四半期連結累計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
- (注) 3. 当社は、第2四半期の業績開示を前連結会計年度から行っているため、24年6月期第2四半期の増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	5,159	3,660	70.4
24年6月期	3,389	2,263	65.9

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 3,631百万円 24年6月期 2,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,426	44.2	726	18.2	702	14.8	424	14.5	31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) - 、除外 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

\* 詳細は、添付資料6ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	14,280,200株	24年6月期	12,270,000株
25年6月期2Q	188,200株	24年6月期	235,400株
25年6月期2Q	12,446,727株	24年6月期2Q	11,103,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成25年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

(株式分割について)

・当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割行われたと仮定し、平成25年6月期第2四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業的前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州における金融不安等を要因とした世界経済の減速により、輸出や設備投資が鈍化する等、景気の先行き不透明感から、個人消費は低調に推移いたしました。

そのような状況下で、わが国の日常生活におけるインターネットの影響力は、スマートフォンや多機能端末等の普及が本格化し、より一層強まっております。特に携帯電話でのインターネット利用に関しては、平成24年12月末現在、携帯電話契約数は1億3千4百万件、そのうち高速データ通信が可能な第3世代携帯電話契約数は1億2千9百万件に達し、全端末のうち約96%は高速データ通信が可能な状況となっております（電気通信事業者協会調べ）。

スマートフォンに関しては、平成24年7月～9月における国内出荷台数が797万台（前年同期比50.2%増）となり国内携帯電話出荷台数の72.1%となるなど、順調に拡大しております（IDC Japan株式会社調べ）。

このような環境のもと、当第2四半期連結会計期間末現在、「@cosme」の月間ユニークユーザー（UU）数は約654万UUとなりました。また、12月に17社30ブランドの出展と人気モデル・タレント・アーティストの出演、延べ来場客数1万5千人となった日本最大級のビューティエンターテインメント「BEAUTY STYLE COLLECTION by @cosme 2012（以下、「BSC」という。）」を開催いたしました。BSCでは、「@cosme」ユーザーを中心とした美容感覚が高い生活者と、化粧品や美容メーカー各社、女性のライフスタイルを取り巻くさまざまな業種とのコラボレーションを実現させるとともに、メーカーと生活者とのリアルな接点を創造し、業界を横断的に網羅したマーケティング活動の機会を訴求して参りました。この結果、イベント開催後のメディア露出は約450件近くに上り、2億円を超える広告換算額となりました。今後、当社サービスのブランディング活動に寄与することが見込まれます。

メディア事業については、より便利に化粧品を探しやすいサービスを提供するために「@cosme」アプリ及びクチコミ投稿アプリをAndroid、iOS、Windows8（一部）の全アプリマーケットにてリリースするなど、引き続きユーザー拡大に向けた取り組みを実施して参りました。EC事業・店舗事業においてはメディア事業との連携の強化を、また、その他事業においては、引き続き、営業体制の見直し及び「@cosme」等の他のサービスサイトとの連携を行った結果、販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は3,145,928千円（前年同期比46.1%増）となりました。利益面につきましては、売上原価や販売費及び一般管理費の抑制により収益性の向上に努めて参りました結果、営業利益336,299千円（前年同期比4.8%減）、経常利益321,636千円（前年同期比12.0%減）、四半期純利益183,690千円（前年同期比18.7%減）となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① メディア事業

当第2四半期連結累計期間においては、特にブランドファンクラブサービス、レスポンス型広告サービス等の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,599,976千円（前年同期比29.2%増）、セグメント利益は206,792千円（前年同期比32.4%減）となりました。

#### ② EC事業

当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期に引き続き、「@cosme」で展開する「おトク de @cosme」からの誘導といったメディア事業との連携や「cosme.com」独自のポイントキャンペーン等が寄与し、「cosme.com」本店の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は286,087千円（前年同期比31.9%増）、セグメント利益は21,518千円（前年同期比37.1%増）となりました。

③ 店舗事業

当第2四半期連結累計期間においては、特に4月にオープンしたルミネ池袋店の販売が予想を大幅に上回る等、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は931,561千円（前年同期比33.4%増）、セグメント利益は41,213千円（前年同期比105.9%増）となりました。

④ その他事業

当第2四半期連結累計期間においては、特にメディア事業より移管したキャリアサービス等の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は328,303千円、セグメント利益は45,826千円となりました。

なお、その他事業については、前連結会計年度末より当社の連結対象としており前年同四半期との業績比較が不可能な為、これを行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,769,467千円増加し5,159,166千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,098,235千円増加し3,695,568千円となりました。これは主に、現金及び預金が895,014千円増加したこと、また受取手形及び売掛金が182,524千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ671,232千円増加し1,463,597千円となりました。これは主に、海外非連結子会社（香港、シンガポール、インドネシア、中国）の設立等による子会社株式の取得、並びに資本提携に伴う投資有価証券の増加があったこと等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ372,540千円増加し1,498,423千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ135,119千円増加し1,122,074千円となりました。これは主に、買掛金が210,441千円増加したものの、未払法人税等が64,566千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ237,420千円増加し376,348千円となりました。これは主に、銀行借入を行ったため長期借入金が236,000千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,396,927千円増加し3,660,742千円となりました。これは主に、増資の実施等による資本金の増加607,464千円、資本剰余金の増加598,378千円、及び四半期純利益183,690千円を計上したことに伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より895,014千円増加し、2,548,505千円となりました。区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、202,213千円（前年同期は190,525千円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加182,524千円、法人税等の支払額198,964千円があったものの、仕入債務の増加210,441千円、税金等調整前四半期純利益の計上312,884千円、減価償却費の計上113,434千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用された資金は、800,837千円（前年同期は120,763千円の支出）となりました。主な要因は、海外非連結子会社（香港、シンガポール、インドネシア、中国）の設立等による子会社株式の取得、並びに資本提携を伴う投資有価証券の取得による支出330,451千円、及び有形・無形固定資産の取得による支出226,784千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、1,493,638千円（前年同期は3,214千円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出67,700千円があったものの、長期借入れによる収入360,000千円、株式の発行による収入1,200,917千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年10月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成25年1月23日付で業績予想の修正を行っております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,490	2,548,505
受取手形及び売掛金	684,362	866,886
商品	197,812	215,216
その他	71,472	76,815
貸倒引当金	△9,804	△11,854
流動資産合計	2,597,333	3,695,568
固定資産		
有形固定資産	116,131	120,005
無形固定資産		
のれん	77,100	73,830
ソフトウェア	381,088	390,074
その他	14,920	114,741
無形固定資産合計	473,108	578,645
投資その他の資産	203,125	764,946
固定資産合計	792,364	1,463,597
資産合計	3,389,698	5,159,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,589	343,031
1年内返済予定の長期借入金	127,060	183,360
未払法人税等	205,884	141,317
賞与引当金	9,649	18,767
ポイント引当金	15,074	23,544
その他	496,697	412,054
流動負債合計	986,954	1,122,074
固定負債		
長期借入金	134,100	370,100
その他	4,828	6,248
固定負債合計	138,928	376,348
負債合計	1,125,883	1,498,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,638	1,531,102
資本剰余金	869,979	1,468,357
利益剰余金	486,485	670,176
自己株式	△47,080	△37,640
株主資本合計	2,233,022	3,631,996
少数株主持分	30,791	28,746
純資産合計	2,263,814	3,660,742
負債純資産合計	3,389,698	5,159,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,153,812	3,145,928
売上原価	714,443	1,083,798
売上総利益	1,439,368	2,062,129
販売費及び一般管理費	1,085,957	1,725,829
営業利益	353,411	336,299
営業外収益		
受取利息	114	175
持分法による投資利益	12,061	—
受取手数料	1,239	1,563
その他	585	1,509
営業外収益合計	14,000	3,248
営業外費用		
支払利息	2,016	3,094
株式交付費	—	13,610
その他	—	1,206
営業外費用合計	2,016	17,911
経常利益	365,396	321,636
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	6,106
その他	—	2,644
特別損失合計	—	8,751
税金等調整前四半期純利益	365,396	312,884
法人税等	139,576	123,811
少数株主損益調整前四半期純利益	225,819	189,073
少数株主利益	—	5,383
四半期純利益	225,819	183,690

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225,819	189,073
四半期包括利益	225,819	189,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,819	183,690
少数株主に係る四半期包括利益	—	5,383

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	365,396	312,884
減価償却費	86,576	113,434
のれん償却額	—	7,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	924	2,050
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,326	9,118
ポイント引当金の増減額(△は減少)	254	8,469
受取利息	△114	△175
支払利息	2,016	3,094
株式交付費	—	13,610
持分法による投資損益(△は益)	△12,061	—
店舗閉鎖損失	—	6,106
売上債権の増減額(△は増加)	△59,471	△182,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,319	△17,281
仕入債務の増減額(△は減少)	14,152	210,441
その他	△27,139	△83,225
小計	377,540	403,714
利息及び配当金の受取額	114	180
利息の支払額	△2,387	△2,716
法人税等の支払額	△184,741	△198,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,525	202,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△330,451
有形固定資産の取得による支出	△806	△25,566
無形固定資産の取得による支出	△121,954	△201,217
差入保証金の差入による支出	—	△213,336
その他	1,998	△30,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,763	△800,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	360,000
長期借入金の返済による支出	△46,459	△67,700
株式の発行による収入	—	1,200,917
その他	△326	421
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,214	1,493,638
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,977	895,014
現金及び現金同等物の期首残高	1,130,348	1,653,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,203,325	2,548,505

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (千円)
	メディア事業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,238,488	216,829	698,494	2,153,812	—	2,153,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	267	2,485	3,701	6,455	△6,455	—
計	1,238,756	219,315	702,195	2,160,267	△6,455	2,153,812
セグメント利益	305,976	15,700	20,016	341,693	11,718	353,411

(注) 1. セグメント利益の調整額 11,718千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,599,976	286,087	931,561	328,303	3,145,928	—	3,145,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,467	8,859	261	11,587	△11,587	—
計	1,599,976	288,554	940,420	328,564	3,157,516	△11,587	3,145,928
セグメント利益	206,792	21,518	41,213	45,826	315,350	20,949	336,299

(注) 1. セグメント利益の調整額20,949千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(報告セグメントの変更)

当社は、前連結会計年度末よりその他事業を営む株式会社アイスポットを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度末より「その他事業」を報告セグメントに追加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間において公募増資、自己株式の処分等を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が607,464千円、資本剰余金が598,378千円増加、自己株式が9,440千円減少し、当第2四半期連結会計期間末時点で資本金が1,531,102千円、資本剰余金1,468,357千円、自己株式37,640千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。